

発行

福井県大野市天神町1番1号
大野市役所
電話(代)6-1111
郵便番号912
印刷 松浦印刷所



9月の人口の動き

出生	男 28	女 19	計 47
死亡	〃 13	〃 8	〃 21
転入	〃 48	〃 52	〃 100
転出	〃 34	〃 29	〃 63
世帯数	10,342 (前月+17)		
人口	42,751 (前月+63)		
男	20,653	女	22,098



生活に潤い求めろ

絵画の広場がモットー

スケッチブックの上を走る鉛筆の音だけが室内に流れ、モデルを追うどのまなざしも真剣で鋭い。

このグループは毎週日曜日の夜、下庄公民館に集まって絵の勉強をしている「たけのこ会」の方々です。

9月はモデルを使つてのクロッキー(速写画)が行われ、短時間に仕上げる訓練が繰り返されていました。15分ごとに取られる休憩時間になると今までの静けさとは打って変わり、クロッキーを互いに

批評し合ったり、県美展などへの出品に話の花を咲かせていました。

会員は現在24人で、高校生から70歳のお年寄りまでおり、職業も会社員、商店主、工員、主婦などいろいろです。

会員の近藤真理子さん(21歳、中挟)は「絵をかいているときは充実感があります。自分の生活に潤いを持つ意味からも、ずっと続けていきたい」と絵画を生活に生かす楽しさを語っていました。

会が発足してまだ1年7カ月ですが、

この間に中央展入選者6人、県美展入選者5人を出すなど目覚ましい活躍ぶり。

市文化祭への出品はもちろんのこと、独自で「たけのこ展」を開き、市民の絵画レベルの向上にも大きく貢献しています。

会長の小森健吾さんは「絵画の好きな人の広場になることが会のモットーで、例会はいつも和気あいあいのうちに進められています。来年は県下の公募展をやりたい」と会の活動に掛ける夢は大きい



節水で井戸枯れ防止

市民は水をとおして一蓮託生

吉田 また心配な
 渇水期になりました
 昨冬はヒヤヒヤしな
 ながらも井戸枯れした
 のはごくわずかの戸
 数ですみ、よかったですね。



市長 これは暖冬
 という好条件もありましたが、何とい
 っても市民の「節水」の成果でした。

松森 昨年市はいろいろなパンフレッ
 トを出されたり、会合や節水座談会等
 で精力的に地下水の状態を訴えられ、節水
 を呼び掛けられましたので、市民の水に
 対する関心が高まり、わずか7戸の井戸
 枯れですんだのだと思います。

石田 市民の中しもには
 下の方で節水しな
 なくても、上の方には
 影響がないと思っ
 ている人がかなりい
 ますね。下庄地区では
 今まで井戸枯れが起
 こったことがないか
 ら、なかなか自分自身の問題として考
 えられない気がします。それで昨年は婦
 人会活動に地下水問題を取り入れて節水
 運動を進めてきました。



市長 水があるからといってどんど
 んくみ上げると上の方から枯れ、最後には
 下までなくなって取り返しのつかない状
 態になる。この意味から、大野市民は水
 を通して一蓮託生（いちれんたくしょう）
 ですよ。

吉田 水は大野市民共同の財産です
 から大切にしなければ
 なりません。ことし
 の1・2月は節水が
 徹底していたよう
 でも、中には雪が降
 らないときにどん
 どん融雪水を出して
 いる家がありました。節

水は市民の基本的な
 モラルだと思います

石田 道路融雪に
 ついては割合うまく
 管理されていたよう
 に思いますが……。

市長 道路融雪管
 理者が実に上手に管
 理して下さいませ
 ね。

源は真名川 水のかん養

松森 現在市が取り組んでおられる具
 体的な地下水対策はどんなことですか。

市長 それは大きく分けて2つになり
 第1は地下水を増やすかん養対策、第2
 は水の合理的な利用で工業用水の再利用
 と「水のむだ使いはしない、という市民
 の節水へのお手伝いです。かん養対策は
 昭和42年から本格的に始め、まず調査を
 やり地下水の正確な基礎資料を得て「大
 野市の地下水のかん養源は真名川である
 から、本流に一定の水量を流して欲しい」
 ということを昭和45年に建設省へ働きか
 けました。それ以後建設省へは根気よく
 要請していますが、ちょうどことしの12
 月から真名川ダムは貯水を始めますし、
 近年中に真名川発電所も発電を開始しま
 す。この機会に一定量の水を真名川にノ

出席者

- | | | |
|--------------|----|-------|
| 大野市婦人会連絡協議会長 | 吉田 | サキノさん |
| 大野地区婦人会長 | 松森 | はるのさん |
| 下庄地区婦人会長 | 石田 | 文子さん |
| 大野市長 | 寺島 | 利鏡 |

きめ手はストップ融雪



昨冬は融雪装置を使わず雪下ろしをした市民

メ流してもらうよう積極的に交渉を進めています。建設省も大野市の要請にこたえるという方向で検討しています。

吉田 用水路などもコンクリートになったので、水が地下に浸透しにくくなった1つの原因でしょうね。かん養対策については市が積極的に取り組んで下さるようお願いします。

市長 かん養対策のもう1つは、市街地へ通じる多くの用水路へ水を取り入れて地下浸透を図ることです。昨年は3・4号用水路のしゅんせつや改良をしました。ことしも1,670万円をかけて水の地下浸透と市街地への流通をよくする工事を進めています。

各工場、循環設備に改善へ

杉森 2月の日刊紙に市長さんの地下水に対する次のような談話が載っていました。「本願清水も御清水も1年中わき水の絶えない大野市にしていきたい。それには水の合理的な利用が必要で、ことしは市内の各工場に地下水再利用の循環装置を設置してもらう」ということでしたが、この対策はその後どのようになっていますか。

市長 ことしの6月と8月に県繊維工業試験所に依頼して、市内大手21工場の地下水利用の診断をしました。その結果この21工場で量水計も含めて約2,000万

円で循環方式に改善できるという診断結果を得ました。市はさっそく各工場へ個々の診断結果を示して改善を進めてもらっています。

もう既に実施して下さった工場も二、三あります。

改善方法は地下水を2回使い、冬の工場融雪は3回目の排水を使うことになり夏で約30%、冬で約75%の水が節約できると言われています。

石田 工業は発展してもらわなければなりません、工業用水は飲料水とは違う水源を使うことができるのでしょうか。

市長 工業用水は中水道を造り供給している市がありますね。しかし、大野市で生産される織物は他地では生産できない強燃糸のジョーゼットクレープで、これが織れるのはいったん一定の温度をもった地下水によって工場内の温度と湿度調整ができるからです。



吉田 世界に誇る織物はどんどん生産していただかなければなりません。それと同時に一日も早く循環装置を備えて合理的な水利用が行われるように心掛けてほしいですね。

「私ぐらいは…」は禁物

石田 道路融雪の水を1日フルに使うとどれくらい必要なのでしょうか。

市長 3万4,000ℓです。しかし、昨冬のように上手に管理していただくと、たいした水量にはならないと思います。

松森 道路融雪は交通を確保する上で市民生活に必要ですから、個人に優先して使ってもいいのではないのでしょうか。でも、合理的な使用は昨年以上に工夫

しなければなりません。

吉田 私の近所に屋根の融雪装置はありますが、節水のため昨冬は一度も使わなかったという家庭があります。ことしも一時に大量の水を必要とする個人融雪は、できるだけ避けるように心掛けなければなりません。

松森 ことしの婦人会活動のスローガンが「資源を大切にしよう」ですし、特に地下水は大野市民の共通の資源ですから「私ぐらい使っても…」という甘い気持は禁物ですね。



市長 ことしも私道、個人の屋根融雪は原則として使わないということを励行願わなければ、井戸枯れを防ぐことができません。節水は大人も子供も市民挙げて実行しなければなりません、ご婦人は各家庭の水の管理者ですから、「わが家では水のむだ使いをしない」教育と習慣づくりをお願いしたいですね。

石田 市で地下水位の観測をやっておられますね。危険な状態になった場合、どんな方法で市民に知らせるのですか。

市長 浅井戸用の観測井は10月に新たに5か所設けましたから合計9か所になりました。毎日データを取っていますので、市報でお知らせするとか、またいろいろな会合を利用して内容がわかるようにしていきます。

吉田 これから冬にかけて婦人会では屋根融雪、私道融雪のストップ、台所用水の節水運動を進めていきます。

松森 その具体的な方法として、一定時間水を使わない「時間節水運動」、ができないか今検討しています。

市長 婦人会が強力に節水運動を進めて下さるのは力強いことです。この冬も井戸枯れを防ぐきめ手は「節水」です。市民1人ひとりが「むだな水は一滴も流さない」という心構えで、1戸の井戸枯れ家庭も出さないよう、がんばりましょ

市の地下水対策

工場地下水の利用診断まとまる

「設備改良で節水は十分」

循環させて冬は四分の一に

くても水の有効利用ができる改善策が示されたので、市は各織物会社へ個々の診断結果を知らせて、設備の改善を要請しています。

診断を受けたのは織機85台以上の大手18社21工場で、どの工場も年間をとおして地下水を必要とするエアワッシャ（温度と湿度調整装置）を使い、21工場で1日に夏季約3万6,000ℓ、冬約3万ℓの水をくみ上げていると推定されています。

この現状に対して診断書は2つの改善案を示しています

第1案はエアワッシャの水をバイパス回路を設けて1部循環させ、夏は工場内の温度の下がり過ぎを27度前後に調整してくみ上げ量を減らし、冬は10%程度の地下水を補給して水回路の汚れを防止するようにすれば、夏は約2万3,000ℓ、冬は約7,300ℓの水量でよく現在より夏季で約30%、冬季で約75%節水できるとしています。改善経費は21工場全部で約2,000万円ですみ、維持費もかかりません。

第2案はエアワッシャにチリングユニ



循環用パイプを設置して節水する工場

ット（冷凍機）等を使用する方法で、これを行えば夏季約1万3,000ℓ、冬季約7,000ℓに抑えられ、夏季で約65%、冬季で約75%節水が出来ます。しかし、改善費が21工場で約1億5,000万円、1工場当たり平均710万円が必要な上、維持費も1工場当たり月平均31万円かかると見込まれています。

目標節水のため量水計を

このため報告書は「冬季の地下水の枯渇を防ぐため、まず第1案を取り入れるとともに、地下水の正確な使用量を把握し目標節水量を設定する上からも各工場に量水計を取り付けることが先決」と述べています。

また、地下水保全のためには、冬季の節水だけでなく年間をとおしての節水が必要であると指摘しています。

市は各会社に具体的な診断結果を示し早く設備を改善し、量水計が設置されるよう要請しています。

もうすでに二、三の工場では改善されましたし、年内に改善を計画している工場もあります。

この改善に当たっては、市の地下水再生利用資金が有効に使われており、企業と市が一体となった対策が進められつつあります。

市が県繊維工業試験所等に依頼していた織物工場の地下水の利用診断結果がこのほどまとまりました。

これによりますと、「現在の設備を改良するか、使い方を工夫すれば節水が十分できる」とあり、多額の工事費をかけた



④瑞祥寺境内の

古 墓

信長が朝倉討伐のため一乗谷に迫り、追われた義景が大野で天正元年に自害。その折り返った景鏡が平泉寺衆の手によって果て、やがて衆徒も減びてしま



かかえ祀

ました。その平泉寺の拘武士の1人であったという稲津新兵衛の子孫代々の墓が寺町南端の瑞祥寺境内にあります。

慶長十九年という刻字のある一石五輪塔(362年前)を最古として、立派な石厨子に収まった正徳五年と元文五年の塔や、風雨でコケ蒸し崩れた五輪塔群は20余り。角塔、板碑、自然石、円

塔、地藏塔と形はまちまちですが、全部で50余基建ち並んでいます。寛延二年九月五日歿とある新兵衛は5代目で、その後も町人として栄えた家柄であったこと

が伺われます。

現在の本町下三輪家（よし原屋）辺りに大店を構えていたようです。

市の地下水対策

浅井戸観測井5カ所を新設

生活水を守るバロメーターに

地下水の観測をより一層強化するために、市はこの程工費90万円で御清水、荒井公園、有明町、水落町、中挟の5カ所に直径5 ϕ のパイプを深さ14 ϕ 打ち込み新しい観測井を設けました

これはことし1月に医師会館、開成保育所、春日児童館、弥生公園に設けたものと同じです。今月からは市街地を囲むように設けられた9カ所の観測井で家庭用水に直接影響のある浅い部分の地下水の動きを調べ適確な情報を早く市民にお知らせし、生活用水を守るバロメーターにしていきます。深層部の観測井(30 ϕ ~100 ϕ)は競馬場跡地、堂



観測井打ち込み工事(御清水で)

本、菖蒲池、陽明中学校の4カ所にあり、地道な動水位の調査をとおして地下水対策の基礎資料にしていきます。

深井戸のくみ上げは、地下の浅い部分で流れている自由面地下水を深い地下水帯へ引っ張り、水位を下げているのがはっきりわかります。

もし、この上に屋根の融雪水が加わりますと、水位は浅井戸用家庭ポンプのくみ上げ限界である6~7 ϕ まで下がり、多くの家庭で井戸枯れが起こっていたで

スマイル

湯水期

水も漏らさぬ対策をたてよう

—市民

しょう。

15日以降の地下水水位の上昇は、雪解けによって地下水のかん養が進み、日に日に回復していったことを示しています。

ことしの2月のように好条件のときでも、平時の水位1 ϕ 50 ϕ にもどるには半月かかっています。

仮に地下水水位が7 ϕ に下がっているとすれば、地下水のかん養が同じ条件であっても回復には1カ月以上かかることになります。

地下水水位が下降して恐ろしいのは井戸枯れだけではなく、それは水質が悪くなることです。大野市の場合、地下水水位が1 ϕ 50 ϕ あるときの地下水1日の平均流速は4 ϕ 50 ϕ ~5 ϕ です。

流速は水位が下がるにしたがって早くなり、2月15日以前の水位では1日の平均流速は5 ϕ 50 ϕ と推測されます。

学術的に飲料水には1日8 ϕ 以下の流速でなければ適さないといわれていますので、大野市の場合、地下水水位が5 ϕ 50 ϕ 以下になれば不適な地域が出てきます。市内9カ所の観測井はこのようデーターを毎日目につきやすい所に掲示していますので、関心をもってご覧下さい

井戸枯れと水質の悪化がこわい

水位5.5メートルが赤信号

地下水下降

右の図をご覧ください。これはことし2月の地下水位の動態で、市街地4カ所の観測井で記録したものです。

2月は穏やかな日が続き、融雪のための水のくみ上げはありませんでした。

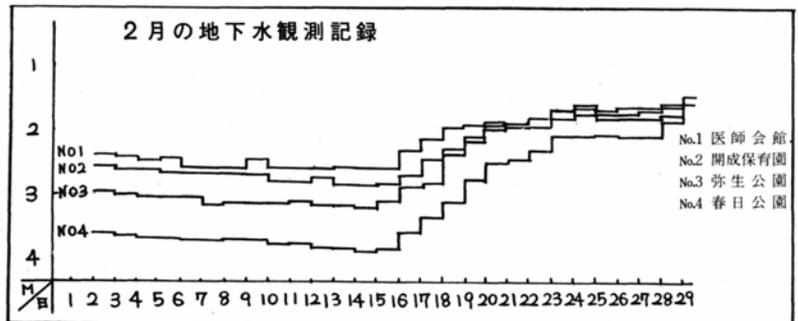
この状態で、水位は15日まで医師会館で2 ϕ 50 ϕ 、開成保育所で2 ϕ 75 ϕ 、春日保育園で3 ϕ 80 ϕ 、弥生公園で3 ϕ 50 ϕ 前後に下がっていました。

それが16日以降は水位がぐんぐん上がり、29日にはどの観測井もほとんど1 ϕ 50 ϕ になっています。

この推移は何を意味するのかを簡単に

説明しましょう。

まず、2月15日以前の地下水水位2 ϕ 50 ϕ ~3 ϕ 80 ϕ は冬季のため、地下に浸透する水が少なくなっているところへ、家庭用水と深井戸のくみ上げが重なり、水位が下降したことを示しています。特に



総工費5,041万円

カラフルな洋室、防音室が特徴

有終会館がオープン

文化・体育・福祉活動に利用を



▲有終会館の正面玄関
▶きれいに改造された体育館



8月から改造工事を進めていた有終会館が10月25日完成し、11月1日オープンしました。

この会館は、市民の文化や体育活動、また社会福祉団体の活動などに大いに役立ててもらおうと設置したもので、個人団体を問わず利用することができ、社会教育団体、スポーツ団体、福祉団体などが使用する場合は減免によりほとんど無料になります。

開館時間は午前9時～午後10時で、休

日は毎週金曜日(第3金曜日を除く)と第3日曜日、祝祭日です。使用希望の方は前もって有終会館事務所(6-2287)へご連絡下さい。

会館の全容は、図のとおりです。

本館は開成中学校旧校舎の平屋の部分1,172平方メートルと体育館838平方メートルで、隣接している大野心身障害者職業訓練授産施設「あすなろ」と合わせて総工費5,041万円で改造しました。

会議室は大小合わせて8室、そのうち5室が洋室で、3室が和室です。

洋室の壁面はプリント石こうボードの花模様やカラフルな黄白茶色のしま模様仕上げになっており明るくモダンな室ばかりです。

特に一番大きな第1会議室(111平方メートル)は若者向きの防音構造になっており楽団演奏の練習や演劇などのけいこに適しています。

和室の大部屋は35畳で床の間や飾りだながあり、明るい造りの中にも落ち着き

のある部屋です。

体育館は床のフローリングと壁面を張り替え、バレーボール、バドミントン、バスケットボールなどが出来る設備をしました。

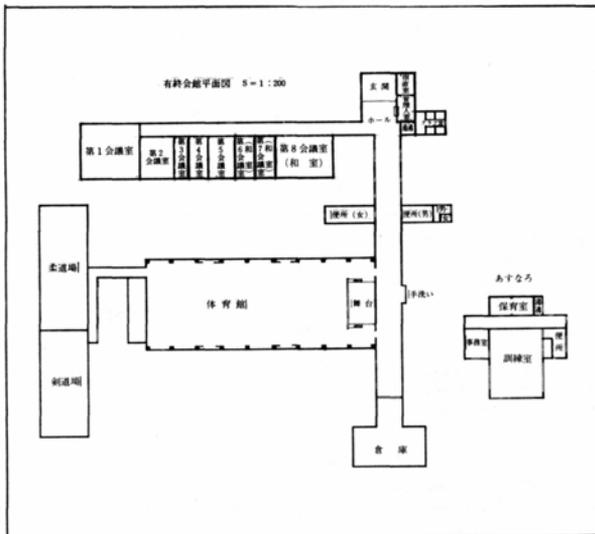
有終会館はこれらの会議室、体育館の外に剣道場、柔道場、グラウンド(開成中旧グラウンド)、テニスコート(市役所西側)も含め管理、運営していきます

心身障害者の授産施設

「あすなろ」も開所

大野心身障害者職業訓練授産施設「あすなろ」(238平方メートル)は11月1日に開所しました。この施設は、市が大野市中心身障害者育成会(大石武利会長)に貸与したもので、育成会が管理運営し、在宅の心身障害者に職業訓練を行います。

訓練室にはプレス機やのりつけ機などが備えられ、18人の方が食器たなや本箱作りの軽木工作業の訓練を始めました。



市内小、中学校

今月から米飯給食

週一回、魅力ある給食目指して

市内の各小、中学校では11月から週に1回米飯給食を行います。

パンと米飯を併用して主食の種類を多様化し、給食がより楽しく魅力あるものにするとともに、児童生徒に米飯の正しい食習慣を身につけさせることをねらっています。

すでに勝原小、六呂師小、森目小学校の小規模校では自校炊飯により、週に2～3回米飯給食を行ってきました。

今回実施するのは4中学校と9小学校約5,900人分で、各

学校には大量に炊飯ができる設備がないため、各学校を5グループに分け、1カ月ごとに曜日を変えてアサヒフード(旧勝山給食センター)へ委託して実施します。

米は1食当たり小学校低学年が15・21円、高学年が16・90円、中学生が21・97円、これに加工、配送、食器洗浄などの費用が加算されますので、パン食とはわずかに高くなる見込みです。



楽しく米飯給食を食べる児童(六呂師小学校で)

市民会館結婚千組目
記念品贈り祝福



近藤忠夫、博子さんのカップルに

市民会館開館以来1,000組目の結婚式が10月5日行われ、市から新郎新婦に記念品として水引き細工の宝船が贈られました。この幸運をつかんだのは、春日2丁目近藤忠夫さん(27歳)と博子さん(24歳)で思わぬブ

レゼントにニコニコ。

市民会館での結婚式は昭和41年6月に開館とともに始まり、この間結婚の簡素化に大いに役立ってきました。

開館当時は年間約60組でしたが、近年は約120組。市民結婚式の3分の1が市民会館を利用しています。

人事異動

- 10月1日付け係長以上()内は旧任
- ▶下庄公民館長西田忠(議事事務局次長)
- ▶議事事務局次長堂本為夫(教委庶務課長補佐)
- ▶体育課長補佐本多彰(税務課収税主査)
- ▶教委庶務課長補佐三井文郎(税務課市民税係長)
- ▶税務課市民税係長尾崎庄一(同課)
- ▶社会教育課係長稲葉一夫(税務課)
- ▶教委庶務課付幅口芳枝(社会教育課長補佐)
- ▶退職石丸正朗(下庄公民館長)

駅東第2
土地区画

街路舗装進む

4,414万円で2,917メートル

駅東第2土地区画整理事業内の道路舗装工事が今急ピッチで進められています。道路は昭和49年度に土地区画が行われた有明町から中挟へ通じる幅12mの幹線道路の西側約12ヘクタール内の街路で、総延長2,917.2mです。

また、舗装地域外の街路づくりは昨年度と今年度で行われており、ニュータウンの骨格が着々と出来上がりつつあります。来年度からはこれらの道路の舗装にばかり、昭和53年度で駅東第2土地区画整理事業は完了する計画になっています。

事業費は4,414万9,000円で、今月末日には完成する予定です。

重度の身障、戦傷の方

自宅で投票できます

市選管へ「郵便投票証明書」の申請を

衆議院議員の総選挙が近く行われます。次のいずれかに該当される方は、在宅のまま郵便による不在者投票が出来ますので、早めに「郵便投票証明書」の交付手続きを市選挙管理委員会へして下さい。

すでに交付を受けている方は新たに請求する必要がありません。

1. 身体障害者手帳の交付を受けている人で①両下肢、体幹の障害1級またはは

2. 戦傷病者手帳の交付を受けている人で①両下肢体幹の障害にあつては特別項症から第3項症までの人 ②心臓、ジン臓、呼吸器障害特別項症から第3項症までの人。

郵便投票証明書の交付を受けるには、本人が署名した「郵便投票証明書交付申請書」(市選管にあります)を市選挙管理委員会へ提出して下さい。

2級の人②心臓、ジン臓、呼吸器の障害1級または3級の人。

今月の納税

保険税 第3期分 30日までに納めて下さい。

市役所生活環境課(6-1111内線225)へ

〈申し込み締め切り〉11月20日(土)まで

◆新成人の健康診断

来年1月成人式を迎えられる昭和31年4月2日~32年4月1日生まれの方の健康診断を次のとおり行います。

〈日時〉12月2日(木)11日(土)午前9時~午後3時

〈場所〉大野保健所

〈診断内容〉身長、体重、胸囲、座高、視力、色神、血圧、検尿、血液検査、梅反、血液比重、レントゲン、聴打診

〈受診料〉無料

◆市民体力テスト

体力テストを受けて自分の体力を知りましょう。

〈日時〉11月24、25、26日午後6時~9時

〈場所〉有終会館体育館

〈内容〉横跳び、ジャンプ、ジグザグドリブル、握力など7種目 1人の所要時間30分

◆年賀ハガキの発売5日

昭和52年お年玉つき年賀ハガキが11月5日(金)から発売されます。

ことしの発売枚数は昨年より3億枚少なくなっています。早目にお求め下さい

を次のとおり処分します。入札に参加される方は、11月24日(水)午後4時までに入札保証金の領収書を添えて、入札書を提して下さい。手続きや土地など詳しいことは市都市計画課(6-1111内線323)へお尋ね下さい



〈開札の日時〉11月

25日(木)午後1時

〈場所〉市役所大会議室

〈入札物件〉中荒井町所在の土地5筆

◆52年家計簿のあっせん

大野市貯蓄推進委員会は、昭和52年用「明るい生活の家計簿」を次のとおりあっせんします。

〈価格〉1冊 220円 代金は現物と引き替えです。

〈申し込み〉氏名、住所、冊数をハガキか電話で大野市天神町1~1



◆10日は御在位50年記念で午後休日

11月10日は天皇陛下御在位50年を記念し、国民こぞでこれを祝うため午後は市役所も休日になりますのでご了承下さい。なお、当日は各戸に国旗を掲揚されるようお願いいたします。

◆税務相談は16日

11月11日~17日までは税を知る週間です。この週間にちなんだ臨時税務相談室が16日(火)午前10時~午後3時まで大野商工会議所で開かれます。国、県、市税についてのご質問、悩みなどの相談に応じていますので、ご利用下さい。

◆土地の売却処分

北部土地区画整理事業区域内の保留地

▼しかし、ややもすると日本古来の伝統文化が忘れ勝ちになるこのごろである。大垣のカキようかんは宝暦五年(一七五五年)から脈々と続く伝統があると聞く。当市にも古い文化がたくさんある。古いものの良さを、そしてそこから何を吸い取るべきかを、菊薫る文化の日、秋の夜長に静かに考えてみたいものである。(D生)



よく年寄りや若い人との意見が合わないと言われるが、その原因の一つに両者の物の見

方、考え方の違いによるものがあると思われる。▼物の見方、考え方はその人の受けた教育とか信仰、道徳など、大きく言えば文化というものによって培われると言ってよい。従って、老人の受けた教育身につけた道徳などは、若い人のそれとは当然違っている。しかし、考えてみると老人も今の文化の中で生きており、若い人も受け継がれた伝統文化の中で生きていこうと言えよう。▼物質的な面から見てもそうである。私たちの身の回りには新しい生活用品が次から次と生まれてくる。だが、昔から使われていた便利な品物だっていくらかもある。スリパチしかり、ソロバンしかり、ゲタしかりである。▼こんな話がある。もと人力車夫だった人が、人力車の利点を強調してタクシイをくさしていたが、「あなたの今の職業は」と聞かれ、「タクシイの配車係をしています」と答えたそうである。▼明治維新後、西洋の文化がトウトウと押し寄せ、戦後はデモクラシーが日本人の精神面に大きな影響を与えた。私たちは日本文化と西洋文化との間に生きているのである。